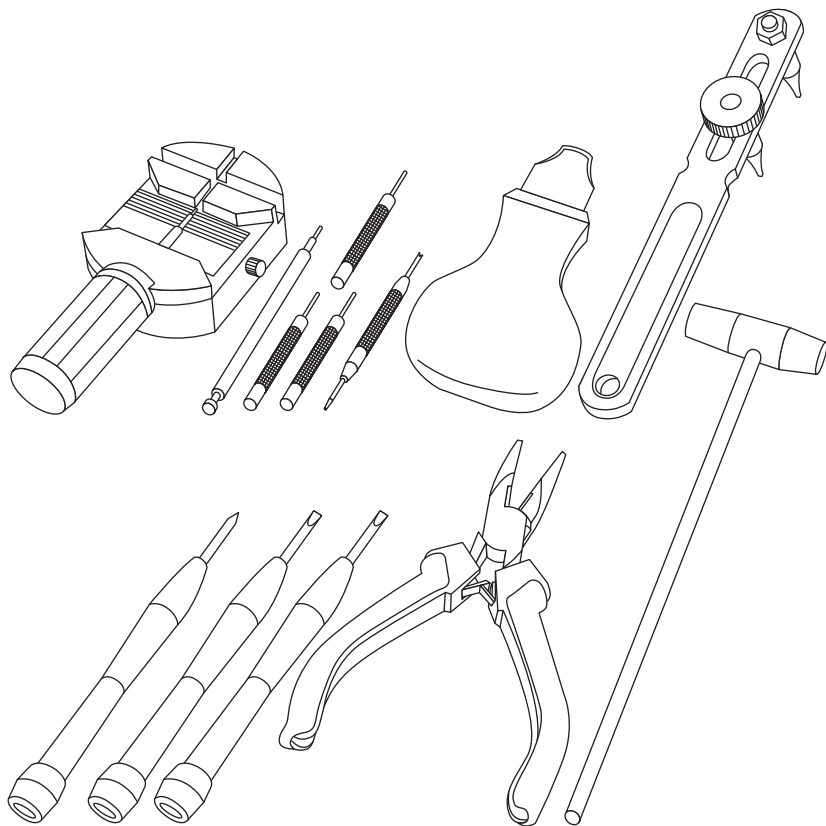
E-Value

ETS-12WR

ウォッチリペアツールセット

取扱説明書

このたびは、E-Value ウォッチリペアツールセットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に適切にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。また、この取扱説明書をお手元に大切に保管してください。

目次

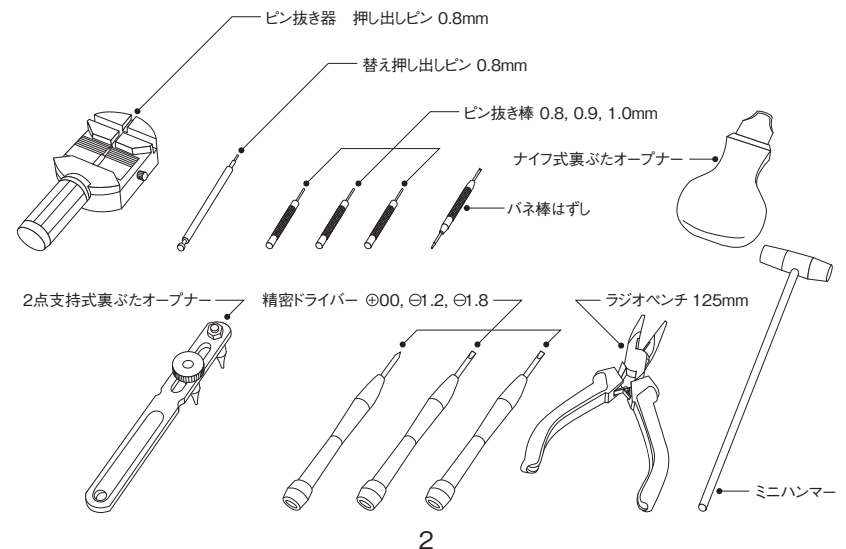
安全にご使用いただくために

使用前の注意

●本製品は、時計のバンド交換や調整、電池交換に使われる一般的な工具です。時計の種類や構造により特殊な工具が必要になる事があります。ご確認のうえ、作業をお願いします。
●詳細な作業方法などについてはご自身でお調べください。防水腕時計の裏ぶたの開閉後、防水機能が損なわれる可能性があります。作業前に十分に調査・検討してください。
●誤って時計を傷つけた場合や破損・機能障害などが起きた場合は、当社は責任を負いかねますので予めご了承のうえご使用ください。
●高額品や特殊構造の時計は購入店や専門店での調整をお勧めします。

使用上の注意

●電気の流れているものには使用しないで下さい。本製品は非絶縁工具です。
●安全のために、保護メガネ等、防護具を着用して使用してください。
●鋭利な工具もあります。工具の取り扱いには、けがをしないよう、十分ご注意ください。
●力の入れ過ぎ、力の入れる向きを誤って作業した場合、工具が変形・破損する場合がありますので慎重に作業を行ってください。
●裏ぶたを取り外す際には十分に注意してください。大変複雑な構造で、元に戻すのが困難な場合もございます。
●作業がうまく進まない場合は、無理な作業をせず専門店での調整をしてください。
●説明書に記載している用途・目的以外には使用しないでください。

セット内容

使用方法

■ピン抜き器

金属バンドのバンド調整。（金属バンドのピンを正確に抜くことができます。）

1.割りピンタイプはバンドの側面をよく見ると小さな穴が数カ所あります。ベルト裏に「↑」があり、ピンの外す方向を記しています。（図1）

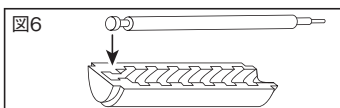
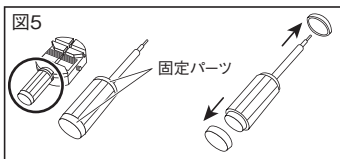
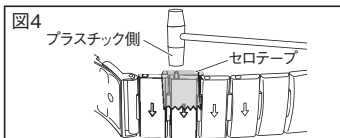
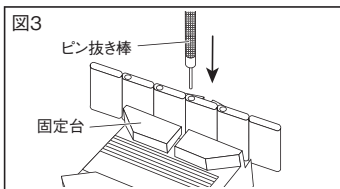
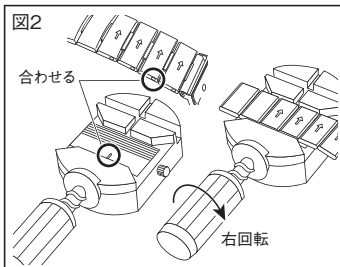
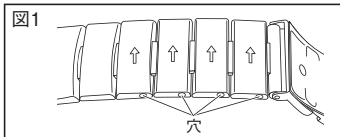
2.バンドのピン穴に押し出しピンの先端を合わせ、ピン抜き器のハンドルを右回転に回してピンを押し出します。（図2）

3.固定台とピン抜き棒を使用してさらにピンを押し出します。反対側から出たピンをラジオペンチで真っ直ぐに引き抜きます。（図3）

4.腕に合わせて駒を取ります。取り付ける時はある程度まで手で差し込みます。バンドにキズを着けないようにセロテープを貼り、ミニハンマーのプラスチック側で叩いてピンを確実に挿入します。（図4）

押し出しピンがピン穴とサイズが違う場合や、押し出しピンがピン穴に正確に合わない場合はピン抜き棒を使用して作業してください。

押し出しピンの交換方法

1.ハンドル部分を取り外し、固定パーツを外します。（図5）
2.替えピンを正確にセットし、ハンドルを組み立て、本体に再度取り付けます。（図6）

■ピン抜き棒

金属バンドのバンド調整。（金属バンドのピン抜きに使用します。）

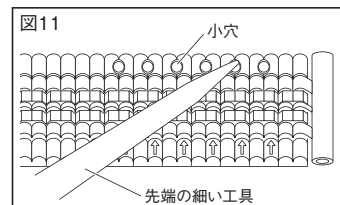
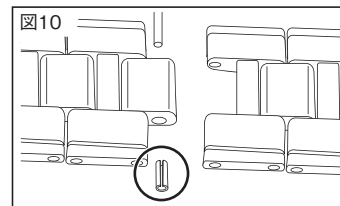
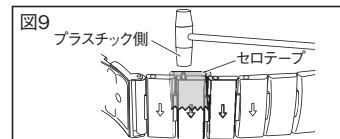
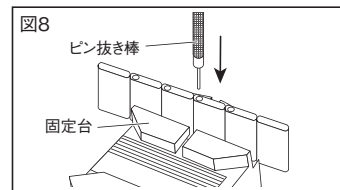
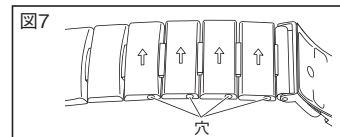
1.割りピンタイプはバンドの側面をよく見ると小さな穴が数カ所あります。ベルト裏に「↑」があり、ピンの外す方向を記しています。（図7）

2.穴の大きさに合わせピンの太さを選びます。ピン抜き器の固定台の穴にピンを合わせ、ピン抜き棒を真っ直ぐに立て、ミニハンマーで叩きます。反対側から出たピンをラジオペンチで真っ直ぐに引き抜きます。（図8）

3.腕に合わせて駒を取ります。取り付ける時はある程度まで手で差し込みます。バンドにキズを着けないようにセロテープを貼り、ミニハンマーのプラスチック側で叩いてピンを確実に挿入します。（図9）

⚠注意

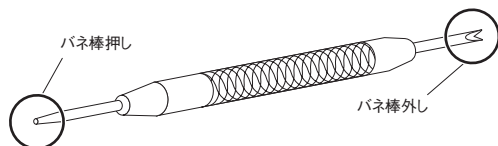
ピン抜き棒の先端は細く、変形しやすくなっています。ピン抜き棒はピンに対して真っ直ぐに立て、真上から力を与えてください。

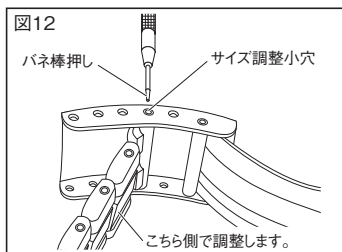
バンド調整において、Cリング式もあります。
使用工具は同じですが作業方法は異なりますので作業前にご自身でお調べください。（図10）

バンド調整において、ばね式もあります。ピン抜き棒などを使用すると先端が変形する恐れがありますので使用しないでください。

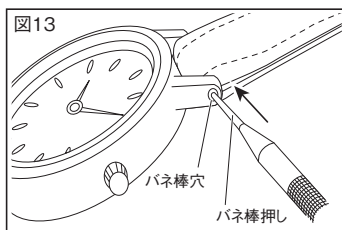
1.バンド側面にピン穴はなく、バンド裏に小穴が開いています。「↑」があり、ビンの外す方向 を記しています。（図11）
2.小穴に先端の細い工具などを差し込んで、矢印の方向にピンを押し出します。

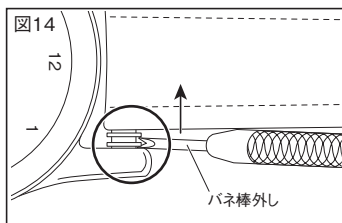
■バネ棒はずし

⚠注意

サイズが合わない時計や、取り付けが特殊な時計には使用しないでください。

三つ折れバックルの微調整

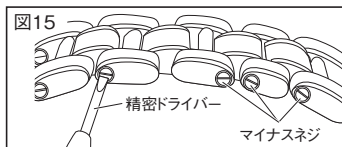
1.サイズ調整小穴に、バネ棒押しで押し込みバネ棒を取り外します。この時、バネ棒が飛び出すことがありますので注意して作業してください。(図12)
2.腕のサイズに合わせバネ棒を希望の穴にセットします。

バンド交換1

ケースの外側にバネ棒穴がある場合、バネ棒押しで押し込みバンドを引っ張ります。(図13)

バンド交換2

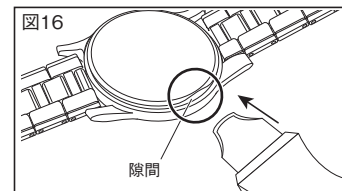
1.ケースとバンドの間のつば部分にバネ棒外しを差し込み、矢印の方向に押し上げます。(図14)
2.取り付けは、バネ棒をベルトに通して片方を穴に差し込みます。親指で革ベルトのバネ棒が通っている所を押さえながら、バネ棒を押し込みます。

■精密ドライバー ⊕00,⊖1.2,⊖1.8

ネジピン式のバンド調整

バンド調整がネジピン式の場合、側面にマイナスネジが見えます。(図15)

ネジ式の裏ぶた開閉など、小さなネジの取り付け、取り外し。

■ナイフ式裏ぶたオープナー

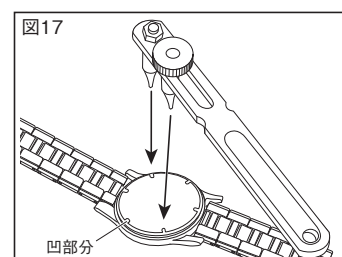
電池交換　はめ込みタイプの裏ぶたをこじ開けます。

1.本体部と裏ぶたの隙間があいた部分を探します。(図16)
2.その隙間にオープナーを差し込み、裏ぶたを外します。

⚠注意

- ●時計の種類や構造により対応できない場合があります。作業前に時計の構造と作業方法などをご自身でお調べください。
- ●裏ぶたを取り外す際には十分に注意してください。大変複雑な構造で、元に戻すのが困難な場合もございます。防水腕時計の裏ぶたの開閉後、防水機能が損なわれる可能性があります。作業前に十分に調査・検討してください。
- ●オープナーが滑ってけがをしないよう慎重に作業してください。作業時は手袋を着用してください。また、専用の固定バイスを使用して作業することをお勧めします。
- ●時計を傷つけないようにオープナーをビニールなど薄いものをかぶせて使用することをお勧めします。
- ●作業中、作業後の時計の不具合については当社は一切責任を負いかねますので予めご了承のうえご使用ください。

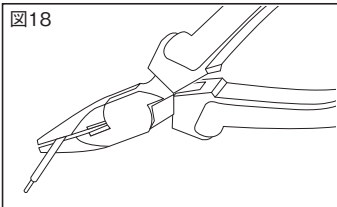
■2点支持式裏ぶたオープナー

電池交換　スクリューバックタイプの裏ぶたに使用します。

裏ぶたの凹部分にオープナーの爪部分を合わせ、調整ネジをしっかり締めます。時計をしっかり固定しオープナーを取り外し方向に回します。(図17)

⚠注意

- ●時計の種類や構造により対応できない場合があります。作業前に時計の構造と作業方法などをご自身でお調べください。
- ●裏ぶたを取り外す際には十分に注意してください。大変複雑な構造で、元に戻すのが困難な場合もございます。防水腕時計の裏ぶたの開閉後、防水機能が損なわれる可能性があります。作業前に十分に調査・検討してください。
- ●オープナーが滑ってけがをしないよう慎重に作業してください。作業時は手袋を着用してください。また、専用の固定バイスを使用して作業することをお勧めします。
- ●時計を傷つけないように裏ぶたにビニールなど薄いものをかぶせて使用することをお勧めします。
- ●作業中、作業後の時計の不具合については当社は一切責任を負いかねますので予めご了承のうえご使用ください。

ラジオペンチ 125mm

バンドのピンなど、小さな部品をつかみます。

ミニハンマー

ピン抜き棒を叩く場合は、スチール側で使用します。
バンドのピンを叩く場合は、プラスチック側で使用します。

発売元：藤原産業株式会社　兵庫県三木市福井2115-1　TEL.0794-86-8200（代）　MADE IN TAIWAN